

令和2年度 第10回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年12月9日（水） 13時00分から15時45分まで

開催場所：A203・204 会議室

出席者：佐藤市長、木下副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、星野産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、田中危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

代表質問と一般質問については、各部局の皆さんにご協力いただきながら、答弁をさせていただきました。今後も引き続きご協力をお願いしたい。また、明日から各委員会があるので、ご対応をよろしくお願いしたい。

<副市長>

市長からも話があったが、代表質問と一般質問を終え、明日から各委員会が始まるので、引き続きご対応をよろしくお願いしたい。また、交通事故が増えているので、車の運転には改めて細心の注意を払っていただくようお願いしたい。併せて、飲酒運転根絶に向けて個人、職場でしっかりと注意をお願いしたい。

<教育長>

新型コロナウイルス感染症について、学校現場では、過去に取り上げられた新聞記事をもとに誹謗中傷を防ぐための授業を行っている。また、シトラスリボンの作成を通じて、シトラスリボンの理念を共有しているところである。わたしたちも感染者に寄り添いながら共生社会を創り上げていくよう引き続き取り組んでいきたいと考えている。

2 協議事項

(1) 21' いいだ環境プラン第5次改訂版（案）について（市民協働環境部）

◇趣 旨：21' いいだ環境プランの第5次改訂について協議する。

◇論点・課題

- ・「環境文化都市」は都市宣言を行い、飯田市が目指している都市像であり最上位概念である。「環境モデル都市」は環境文化都市を実現するため、地球温暖化対策に先駆的取組を行う意思を示すものである。
- ・今回の第5次改訂では、6つのゴールを定め、そのゴールに向けて合計35のターゲットをおく。具体的な取組事例を明記することで、行動へのヒントとなるよう工夫して作成した。

◇主な意見等

（教育次長）新時代への転換がテーマということだが、具体的にどのような転換か資料を見た限りではわかりづらいと思う。もう一点、リボンやリチャージなど、あえて横文字を使う必要はないのではと考えるかどうか。

（市民協働環境部長）新時代への転換という部分はご指摘のとおりだと思うので、具体的に記載するようにする。また、リボン・リチャージ・リチェンジについては環境審議会でも一年間かけて協議してきており、横文字だけではわかりづらいので、意味も併記しているということでご理解いただきたい。

◇協議結果

部長会了承

(2) 飯田市地球温暖化対策実行計画（第3次飯田市環境モデル都市行動計画）（案）について（市民協働環境部）

◇趣 旨：飯田市地球温暖化対策実行計画（第3次飯田市環境モデル都市行動計画）について協議する。

◇論点・課題

- ・長期目標として、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、新たな発想と協働により行動を起こして

いく。

- ・中期目標として、2005年との対比で、2030年に地域全体の二酸化炭素排出量の50パーセント削減を目指す。
- ・短期目標として、本計画期間の4か年（2024年度末）までに、2005年度との対比で地域全体の二酸化炭素排出量の35.2パーセント削減を目指す。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(3) 飯田市気候変動適応計画（案）について（市民協働環境部）

◇趣旨：飯田市気候変動適応計画について協議する。

◇論点・課題

- ・気候変動適応法の第12条では、市町村の計画策定については努力義務とされているが、21' いいだ環境プランの改訂に合わせ本計画を策定することとした。
- ・具体的な行動として、気候変動に係る情報の収集及び提供を行うとともに、各分野別計画へ「適応」の視点を盛り込んでいただく。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(4) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画案について（健康福祉部）

◇趣旨：飯田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について協議する。

◇論点・課題

- ・第8期介護保険事業計画の目指す姿は、第7期を引き継ぎ、「高齢者が安心して健やかに暮らせるまちづくり」～「生涯現役」「生涯安心」をめざして～として、3つの目標を設定して、そのために必要な施策を整理した。
- ・この第8期では、高齢者が安心して健やかに暮らせるまちづくりを実現するために、令和7年度の要介護認定者数が推計数を下回ることを目指し取組を進める。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(5) 飯田市農業振興ビジョン中期の基本的方向について（産業経済部）

◇趣旨：飯田市農業振興ビジョンの中期の基本的方向について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画の中期の期間は2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの4年間として、いいだ未来デザイン2028の中期計画の期間と合わせて策定する。
- ・現状分析を踏まえ、多様な担い手により持続する農業ということで、後継者の確保や女性活躍に力を入れるとともに環境への負荷を低減した生産方式の導入も進める。

◇主な意見等

（教育次長）多様な主体が協働して推進する農業振興は重点だと考えるが、この中期の基本的方向では地域農業への考えがわかりづらい。

（農業課長）前期の中では農業振興センターの再構築や多様な主体が連携した取組を進めてきた。中期の基

本的方向には記載していないが、全体の基本構想に記載してあるのでそれに基づき取り組んでいきたいと考えている。

(市民協働環境部長) 農協が中山間地の事業所を撤退しており、地域への影響が大きいと感じている。このような状況だからこそ、農業課や農業振興センターが体制を整えて、中山間地域を中心とした地域の取組を支援することが重要だと考えている。もう一点、リニア時代を考えると、流通や小売ではなく直接来て販売するなど産業構造の転換が予想される。直売機能の充実など今から取組を進めるべきであり、農畜産物の高付加価値化や魅力を高めて人を呼び込む取組などメリハリをつけて重点化するべきだと思う。

(健康福祉部長) 農業生産者を外から呼び込んでくるという取組が弱くなっていると感じている。このコロナ禍で農業を志す人も増えているので、機を逃さずに取り組むべきだと思う。

(産業経済部長) 今いただいたようなご意見も踏まえて、再度検討させていただく。

◇協議結果

部長会了承

(6) 第2次飯田市教育振興基本計画中期(4年間)の取組の策定について(教育委員会)

◇趣旨：第2次飯田市教育振興基本計画の中期の取組について協議する。

◇論点・課題

- ・本計画は、教育基本法に規定する飯田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画で、中期の重点目標及びアクションプログラムを策定するものである。
- ・前期4年間の振り返りから、子どもの教育の分野では学力や不登校など、地育力を支える人材に関しては、高齢化や在籍期間の短期化、会員の減少などといった課題があり、中期においても引き続き重点的に取り組む。

◇主な意見等

(市民協働環境部長) 前期の重点目標であったLG飯田教育の推進について、どのような総括がされたかわかりづらい。

(学校教育課長) LG飯田教育については、すべてに通じる考え方だと認識しているが、さまざまなご意見をいただく中で、今回の中期の重点目標の中では特化しない方向で考えている。

(市民協働環境部長) 重点目標2の部分で、住民の主体的な学びあいの支援に記載されている内容が伝わりづらい。公民館の本質的な部分についても言及した方がよいのでは。

(教育次長) 表記について改めて相談をさせていただきたい。

◇協議結果

部長会了承

(7) 飯田市スポーツ推進計画について(教育委員会)

◇趣旨：飯田市スポーツ推進計画の第2次改定案について協議する。

◇論点・課題

- ・平成29年に策定された飯田市スポーツ推進計画の第1次計画期間が終了することに伴い、子どもたちの体力低下、働き盛り世代の運動不足などこれまでの課題に加え、情報通信技術を活用した新たなスポーツ活動の実施や高速交通網の整備後に向けたスポーツの展開など新たな課題を踏まえ改定する。
- ・特に、子どもの体力・運動能力が全国値と比較しても低いことから、子どもの運動能力を総合的に高めるための支援や中学生期のスポーツ活動の充実について重点的に取り組む。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(8) 第4次飯田市立図書館サービス計画の策定について(教育委員会)

◇趣旨：第4次飯田市立図書館サービス計画について協議する。

◇論点・課題

- ・飯田市立図書館サービス計画については、平成19年度に策定し、第1次・第2次は5年間、第3次は4年間取組を行ってきており、いいだ未来デザイン2028及び第2次飯田市教育振興基本計画に合わせて第4次計画を策定する。
- ・これまでの課題を整理し、第4次サービス計画では、情報提供機能の充実、子どもの発達段階に応じた継続的な読書活動支援、若い世代の利用促進、分館の蔵書整備や利便性向上などに重点的に取り組む。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(9) 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランについて（教育委員会）

◇趣旨：飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランについて協議する。

◇論点・課題

- ・本計画は、美術博物館のめざす姿とその実現に向けた学芸活動の基本方針及び重点目標を示す「2028ビジョン」と、それを達成するための取組を示す「2028基本プラン」で構成しており、「2028基本プラン」は計画期間を前期・中期・後期に分け、時代の変化などに対応しながら取組を定める。
- ・今回の見直しとしては、「多くの方に親しまれる美術博物館」、「学びの多様化への対応」、「地域を担う人材の育成」、「ICT等の活用」を柱に事業を展開し、これまでの活動を継続するとともに課題に対応した取組を進めていく。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(10) 飯田市歴史研究所第5期中期計画について（教育委員会）

◇趣旨：飯田市歴史研究所第5期中期計画について協議する。

◇論点・課題

- ・飯田市歴史研究所第4期中期計画が今年度で終了することから、歴史研究所のこれまでの取組を踏まえ設置目的に示された基本方針を堅持し、第5期中期計画を令和3年度から令和6年度までの4年間を期間として策定する。
- ・美術博物館や図書館及び公民館との連携、地域や研究団体との連携がまだ不十分であることから、美術博物館や中央図書館との連携をさらに深めるとともに、地域史研究団体や地域市民との連携に努めていく。

◇主な意見等

(市立病院事務局長) 第4期の成果に市内20地区の旧役場文書の整理を終えたとあるが、今後どのように活用していくのか。

(歴史研究所副所長) 目録を作成して各自治振興センターにお送りしているところであるが、その目録を公開して広く地域の皆様に還元していきたいと考えている。

◇協議結果

部長会了承

(11) 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について（教育委員会）

◇趣旨：児童生徒の教育環境について現状や今後の見通しを共有するとともに、目指す姿について意見交換を行う。

◇論点・課題

- ・児童生徒の減少や学校施設の老朽化という現状がある中で、飯田らしい教育活動が活発に展開されると

ともに、新しい時代の中でも地域の魅力に根差した教育環境を実現することにより、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合える場が保障されることを目指す姿とする。

- ・「少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組」研究会で、学校・保護者・地域などと一緒に検討を行い、来年度、各学校運営協議会で意見交換していただくよう進めていく。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

(1) 人事行政の運営等の状況について（総務部）

- ◇趣旨：市職員の給与や定員管理の状況について、地方公務員法・飯田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき公表する。

◇主な意見等

特になし

(2) 県図書館リニューアルオープンと移転に伴う臨時休館について（教育委員会）

- ◇趣旨：県図書館の老朽化に伴う移転と移転による臨時休館について情報を共有する。

◇主な意見等

特になし

(3) 飯田市議会全員協議会（12/18）における報告事項について（総合政策部）

- ◇趣旨：12月18日に開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件3件を報告する。

◇主な意見等

特になし

(4) 飯田市議会各委員会協議会における報告事項について（総合政策部）

- ◇趣旨：12月10日から12月16日に開催が予定されている、飯田市議会第4回定例会の各委員会協議会の報告事項を報告する。

◇主な意見等

特になし

4 閉会